

# 会 報



## 日本生物工学会創立 80 周年記念大会

### 平成 14 年度大会後記

創立 80 周年記念日本生物工学会大会は、平成 14 年 10 月 27 日（日）から 30 日（水）までの 4 日間、大阪市中之島の大阪国際会議場（グランキューブ大阪）で開催された。

この度は、日本生物工学会が大阪醸造学会、日本醸酵工学会を経て 80 周年を迎える記念すべき大会として、学会本部および関西支部が合同で担当した。そこで、本学会誕生の地、大阪市中之島に最近建設された国際会議場を 4 日間借り切り盛大に開催することとなった。かつて、日本醸酵工学会はこの近くの日本生命ビルの 4-6 会場を借りて開催していたことを思うと感慨深いものがある。幸い大会中は好天に恵まれ、会議場の最上階から眺める大阪は、淀川と大阪湾の水面に、六甲と箕面の山並みが映えて、大阪がこんなに美しかったのかと言う声も聞こえるほど参加者の目を楽しませた。

創立 80 周年記念行事は、吉田前会長、谷現会長および新旧副会長の下で各種準備委員会を 2 年前から立ち上げて計画された。その主なものは、アジアの若手研究者を対象にした「生物工学アジア若手賞」、「生物工学実験書改訂版」の出版、産経新聞に連載された「教科書に載っていないバイオ」の感想文を高校生を対象に募集した「バイオインターハイ」、「IT 基金」および「産学連携基金」の設立などである。これら詳細については、別途報告があると思うので省略するが、この記念行事に対して、学会員、各種協会、賛助会員、企業等から当初目標を上回る寄付金の譲与があり、関係者一同大変感謝している。

記念式典は日曜日にもかかわらず熱心な会員の参加があり、これに高校生とその父兄および国際シンポジウムに招待された 40 名を超える外国人が加わった。従来の生物工学賞、技術賞、江田賞、斎藤賞、照井賞、論文賞の他に生物工学アジア若手賞、名誉会員の推薦および功労者の表彰が加わり、日本農芸化学会会長森謙治先生のご祝辞を賜るなど創立 80 周年にふさわしい記念式典であった。特に今回バイオインターハイ最優秀賞を受けた 3 名の高校生による、バイオテクノロジーに対する感想文の朗読は多くの関心を集めた。次世代のバイオテクノロジストを育てようとい

う新名副会長の努力の賜である。

式典後、リーガロイヤルホテルで行われた記念祝賀会は 380 名の参加があり、バイオインダストリー協会長、山田秀明先生のご祝辞、木下祝郎先生の乾杯で始まり、3 丁の日本酒樽の鏡開きはこの学会の歴史を彷彿とさせ、川崎理事の趣向を凝らした内容は食い倒れの大阪らしい食文化を含めて大いに盛り上がりみせた。特に、プロジェクト X の曲をバックにした「日本生物工学会 80 年の歩み」の映像は参加者の注目を集めた。

28 日から始まった記念大会は、一般講演 644 題、シンポジウム 80 題の申し込みがあり、講演要旨も含めてすべてインターネットで受け付けた。初めての試みのため、締切り最終日に講演申し込みが殺到し、メールがつかないと言う混乱もあったが、学会始まって以来の講演数となった。今回こうした電子化の初期投資を行ったので、次回の大会から演題の編集が楽になるだろう。吉田世話人による国際シンポジウム「熱帯生物資源とグリーンケミストリー」に招待された外国人 27 名および韓国からの 20 名の参加は本学会の国際化への取り組みを反映している。「生命圏工学」、「ナノバイオの源流」および「ポストゲノム時代における新しい生物工学を目指して」と題した記念シンポジウムおよび 8 件の協同主催シンポジウムも会期中は多くの聴衆を集めた。最終日はさすがに聴衆は少な目であったが、著名な講演者による招待講演には熱心な会員の質疑も行われた。

この他に、「バイオエンジニアリング 21」と題したイベントホールでの一般シンポジウムおよび、2 回のランチョンセミナーは新たな関心をよんだ。ちなみに参加者総数は、招待者も含めて 1457 名に達し、上記の一般シンポジウムおよび展示会場には 184 名の一般入場者も受け入れた。展示会場では、80 以上のブースの出展があり、塩谷幹事の企画による大学の研究室や大使館などの紹介パネルは 70 件近く出展され、試飲コーナーも設けられ連日賑わいをみせた。

この展示会場と祝賀会には多くの賛助会員からの飲み物などのご提供がありこの場を借りて改めて感謝致します。また、本記念大会が盛況裏に終わったのは、土戸関西支部長、原島庶務理事をはじめ、企画からプログラム編成、会場整備および会期中各種運営にあたっていただいた多くの委員、関係者の皆様の献身的なご協力のおかげです。今記念大会が日本生物工学会の次の 10 年への飛躍の基になるものと確信いたします。

大会実行委員長 室岡 義勝



谷会長の挨拶



祝賀会での鏡開き